

応急手当普及員講習

# 応急手当の指導要領

G2020対応



さいたま市消防局 救急課

# 応急手当指導の概要

## 【指導の目的】

**実際の現場で応急手当を実行できる人材を育成すること**

- ▶ 応急手当への**関心**と**認識**を啓発  
応急手当の**必要性**を訴え、**興味**を持たせること
- ▶ 救命に対する**意識の育成**と**技術**の習得  
応急救護における**役割**を認識させ、応急救護への**理解度**をより深める

応急手当指導における最大の目的は、実際の現場で応急手当を実施できる人材を育成することです。

そのためには、応急手当の必要性を訴え、受講者に興味を持たせることが重要です。

また、救命に対する意識の育成と技術の習得により、応急救護における役割を認識させ、理解度をより深める必要があります。

# 応急手当指導の概要

## 【指導の主眼】

その場に居合わせた人（バイスタンダー）が  
**一時救命処置**（心肺蘇生、AEDによる除細動、気道  
異物除去）及び**ファーストエイド**（止血法）を適切に  
行えるようにする

一言に応急手当と言っても、幅広く様々な処置が挙げられます。限られた講習時間の中で、多くの内容を伝えようとするあまり独りよがりな講習とならないように注意しましょう。

受講者の理解度を確認しながら、より重要な内容を確実に理解してもらえよう心がけることが大切です。

そのためには、応急手当の中で最も肝となる部分は何なのかを、指導者自身が理解しておく必要があります。

# 応急手当の指導技法

## 【指導者の条件と心構え】

- ▶ 応急手当の正しい**知識**と**技術**を備えておくこと
- ▶ 指導者自身が常に学び続け、**向上心**を持つこと
- ▶ **毅然**とした態度で、**誠意**を持って対応すること
- ▶ 常に**相手の立場**に立って考え、指導すること
- ▶ 常に**自己評価**を行い、反省し改善に努めること

# 応急手当指導の手順

## 【事前準備①】

- ▶ **講習会場の確保（会議室、多目的室、公民館等）**
  - ・ 会場の広さは適切か
  - ・ 何時から使用可能か
  - ・ マイク設備等はあるか
  - ・ 机や椅子はあるか等・・・

応急手当普及員として講習を開催するにあたり、事前準備が必要です。

講習会場を確保し、会場の広さや使用可能時間、設備等を把握しておき講習をスムーズに行えるよう準備しなければなりません。

講習会場は、受講対象者によって配慮が必要な場合もあり、ご高齢の方は足腰の不自由な方もいるため椅子を準備するなど、常に受講者の立場に立って考えることが重要です。

また、何も敷いていないフローリングにおいて実技主体の講習を行うことは、受講者への負担も大きいです。畳や絨毯が敷き詰められているフロアであればよいですが、そうでない場合にはマットを準備するなどの配慮も必要です。

# 応急手当指導の手順

## 【事前準備②】

### ▶ レッスンプランの作成

- ・ 受講者数に対して、適切な指導者数は何人が
- ・ 何を指導（主眼）しようとしているのか
- ・ 各項目の時間配分はどのようにするか
- ・ 会場のレイアウトをどのようにするか
- ・ 効果的な講習を実施するために必要な教材や資器材は何か
- ・ 結びやまとめをどのようにするか

講習をスムーズに行うためには、レッスンプランを作成し講習当日はそのレッスンプランを有効に活用して、効果的な指導ができるように努めます。スライドに記載している注意点などを参考にレッスンプランを作成し講習に備えましょう。

# レスンプランの作成例

普通救命講習Ⅰスケジュール  
【〇月〇〇日（〇） 〇〇〇〇学校】

※進行具合により、予定変更あり

時 間	日 時	場 所	内 容
13:30 - 13:45	11日	挨拶等	消防士からの挨拶 応急手当の重要性 (00:00:00)
13:45 - 14:00	11日	応急手当の重要性	応急手当の重要性 (00:00:00)
14:00 - 14:15	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
14:15 - 14:30	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
14:30 - 14:45	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
14:45 - 14:55	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
14:55 - 15:10	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
15:10 - 15:25	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
15:25 - 15:40	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
15:40 - 15:55	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
15:55 - 16:10	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
16:10 - 16:25	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
16:25 - 16:40	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
16:40 - 16:55	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
16:55 - 17:10	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
17:10 - 17:25	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
17:25 - 17:40	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
17:40 - 17:55	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
17:55 - 18:10	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
18:10 - 18:25	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
18:25 - 18:40	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
18:40 - 18:55	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
18:55 - 19:10	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)
19:10 - 19:25	11日	心肺蘇生法	心肺蘇生法 (00:00:00)
19:25 - 19:40	11日	安全確認・救助器具まで実施	安全確認、救助、救助の器具使用 (00:00:00)

クリック

さいたま市 応急手当普及員

検索



『応急手当指導員・普及員 情報共有ページ』



『関連ダウンロードファイル』  
08 レスンプランひな型

さいたま市消防局では、レスンプランのひな形（見本）を市ホームページ上にアップしています。

そちらをダウンロードしてレスンプランを作成していただくのも良いと思います。

## 応急手当指導の手順

### 【事前準備③】

#### ▶ 資器材の準備（例：受講者16名・普通救命講習Ⅰの場合）

- ・テキスト 16冊
- ・AEDトレーナー 4基
- ・マット 4枚
- ・その他(ゴミ袋、消毒綿など)
- ・訓練用人形 4体
- ・気道模型 1個
- ・メトロノーム1個

講習を開催するには資器材の準備も必要です。こちらのスライドはあくまで一例ですが、受講者が16名いる場合には、少なくともこのぐらいの資器材が必要になってきます。

各事業所等で資器材を購入する必要はなく、さいたま市消防局から貸し出すことが可能となっております。借用方法については、『講習開催要領等』の中でお伝えします。

# 応急手当指導の手順

## 【指導の開始①－1】

### ▶ 自己紹介

まず、主たる応急手当普及員が所属と名前等を「〇〇の〇〇です」と自己紹介し、次いで補助者が自己紹介を行う

### ▶ 資料の確認

配布した資料等が受講者全員に行き渡っているか確認する

### ▶ 学習目標等の提示

何を学ぶのか、講習における学習目標を提示し、指導内容等を伝える

事前準備ができましたら、実際に講習を始めていきます。  
講習を開始したら、まずは自己紹介、配布資料の確認、学習目標等の提示から順に進めていきます。

## 応急手当指導の手順

### 【指導の開始①－2】

#### ▶ カリキュラムやスケジュールの周知

学習目標を達成するために、何をどのくらいの時間配分で、どのような順序で進行していくのかを伝える

#### ▶ その他諸注意事項

講習の受講経験の有無や受講者の体調等を確認し、体調不良者には無理をさせない

受講者に、応急手当講習の受講歴の有無や当日の体調等を確認しましょう。受講歴の有無は、講習を進行するうえで有用な情報となります。（経験者と全くの未経験者では当然、理解度に差が出ます）経験者と未経験者、同じペースで指導をしてしまうと、理解できていないまま置いてけぼりになってしまう受講者が発生する可能性があるため、指導者は全体を見渡して講習を進行しなければなりません。また、体調不良者には絶対に無理をさせないようにしましょう。講習の途中で、体調が悪くなってしまったり怪我をしてしまう可能性もあるため受講者の体調には細心の注意を払いましょう。

# 応急手当指導の手順

## 【指導の開始②】

### ▶ 応急手当の重要性の説明

- ・ 応急手当の必要性について話し、応急手当の知識や技術を習得することの大切さを伝える
- ・ テキスト等を活用し救命の連鎖について説明する（4つの輪のうちバイスタンダーによる役割が大きいことを説明し自主救護の意識を芽生えさせる）

**視聴覚教材は、学習効果が高いので上手に活用する。**

講習を開始したら、いきなり実技に入るのではなく、まずは『応急手当の重要性』について座学的な部分を説明しましょう。

自らの経験や時事ネタなども交えて説明することで、受講者に興味を持たせ、応急手当を習得することの大切さを理解させましょう。

また、テキスト等に沿って説明する場合は、視線をテキストに向けたまま棒読みにならないよう注意し、受講者に訴えかけるように話すようにしましょう。

スライドや動画などの視聴覚教材は、学習効果が高いので上手に活用しましょう。

# 応急手当指導の手順

## 【指導の開始③－1】

### ▶ 実技指導（一時救命処置）

- ・心肺蘇生法の説明と展示（指導者が行う）
- ・心肺蘇生法の実技（受講者が行う）
- ・AEDの説明と展示（指導者が行う）
- ・AED取扱いの実技（受講者が行う）
- ・気道異物除去法の説明と展示（指導者が行う）
- ・気道異物除去法の実技（受講者が行う）



実技指導の際は、まず応急手当普及員が実技の展示を行います。最初から最後まで一連の流れを展示した後に、各項目について区切り、詳細を説明しながら進行すると受講者は理解しやすいです。

説明と展示の方法は、事前学習資料で配布した動画資料を参考にしてください。

応急手当普及員による説明と展示が一通り終わったら、受講者に実技を体験していただきます。

# 応急手当指導の手順

## 【指導の開始③－2】

### ▶ 実技指導（ファーストエイド）

- ・止血法の説明と展示（指導者が行う）
- ・止血法の実技（受講者が行う）

※進行具合によっては、止血法以外のファーストエイドについて指導することも良い。しかしながら、**応急手当指導の主眼を見失うことがないように注意**すること

ファーストエイドについても、一次救命処置と同様です。応急手当普及員による説明と展示の後に、受講者に実技の体験をしていただくと良いでしょう。

講習の進行具合にもよりますが、熱中症やけいれんに対する応急手当など、止血法以外のファーストエイドについて説明することも良いと思います。

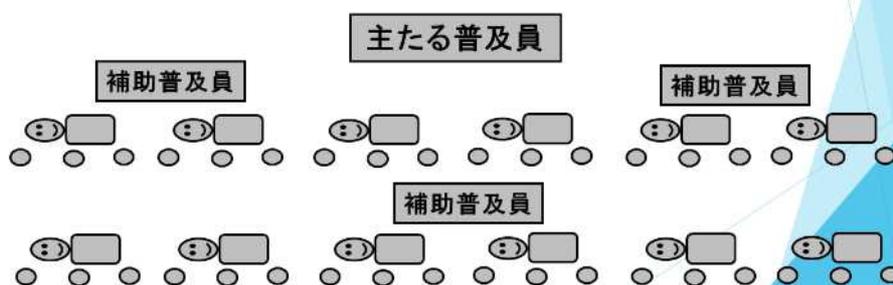
しかしながら、あくまでも応急手当指導の主眼を見失わないように注意しましょう。

# 応急手当指導の手順

## 【実技指導の方法】

### ▶ 一斉方式（多くの訓練用人形が確保できた場合）

受講者2～3名に対して訓練用人形1体を使用し、**主たる普及員の声掛けのもと、一斉に受講者が実技を行う**



### 【一斉方式のメリット】

- ①全員が同じペースで同じ内容の指導を受けられる
- ②全員の進捗具合が同じになるので時間管理がしやすい
- ③ショートステップで繰り返すので覚えやすい

### 【一斉方式のデメリット】

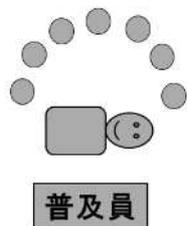
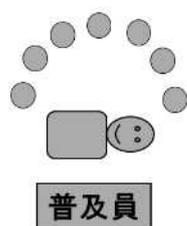
- ①若年層から高齢者まで、または経験者から未経験者まで、全員が同じペースでの学習になってしまう
- ②受講者によっては質問がしづらい環境の可能性がある

## 応急手当指導の手順

### 【実技指導の方法】

#### ▶ ブース方式（訓練用人形が少ない場合）

小さいブースを複数作り、各ブースごとに指導者を1名配置する



#### 【ブース方式のメリット】

- ①一人ひとり細かい指導を受けられる
- ②少人数グループなので質問しやすい

#### 【一斉方式のデメリット】

- ①待ち時間が長く、実施回数が減る
- ②指導者の主観にとらわれた指導になりがち
- ③ブースにより進捗具合に差が出る

# 応急手当指導の手順

## 【実技指導の際の注意点】

### ▶ フィードバック

受講者が実施した行為についてフィードバックを行う

問題点を指摘し改善を促すことも重要だが、指摘ばかりでは受講者のモチベーション低下につながりかねない

**良い部分を見つけ、褒めながら指導**することに努め、受講者を前向きな気持ちにさせることが大切

受講者が実施した行為について、フィードバックを行いながら講習を進行していきますが、問題点ばかりを指摘してしまつては、受講者のモチベーション低下につながりかねません。

通常、人間は褒められれば喜びや楽しみを感じ、前向きな気持ちになるものです。

ネガティブフィードバックとポジティブフィードバック、それぞれのメリットとデメリットを理解しうまく取り入れながら指導しましょう。

## 応急手当指導の手順

### 【指導の終了】

- ▶ **質問の受付**  
応急手当全般における質問等を受け付け回答する
- ▶ **その他**  
講習における怪我人や体調不良者の発生の有無を確認
- ▶ **あいさつ**  
結びの言葉
- ▶ **撤収**  
講習に使用した教材や資器材の片づけ

指導終了の際には、講習全般における質問を受け付けます。質問に対して回答する際の注意点については次のスライドで説明します。

講習を締めくくる結びの言葉を事前にある程度考えておき、締めあいさつをすることで講習の終了を明確にしましょう。

## 質問への回答

### 【注意点】

- ▶ **あいまいな知識や主観を述べない**
- ▶ **不明確なことは**「わからないため、確認して後で回答する」などと伝え、**即答を避ける**
- ▶ 回答は、個人に対して行うのではなく、**受講者全員に対して行う**

講習指導時に受けた質問に対しては、明確に回答できるよう準備しておくことが大切ですが、回答に自信が持てないときは、あいまいな知識や主観は述べないように注意し、不明確なことは即答を控え、確認した後に回答しましょう。

また、講習の中で受講者個人から受けた質問は、他の受講者の中にも同様の疑問を呈している人がいるかもしれないので、受講者全員に対して回答するようにしましょう。

## 応急手当普及員へのご案内

### 【ブラッシュアップ・フォローアップ研修制度】

**消防機関が主催する応急手当講習（一般公募）に  
応急手当普及員が参加（希望申込み制）**

本市が開催している定期応急手当講習に、指導体験や見学という形で参加して貰い、**応急手当講習開催のノウハウ、指導技術の再確認、応急手当に関する疑義を解消**し、自信を持って普及活動を実施してもらうためのサポート体制。

さいたま市消防局では『ブラッシュアップ・フォローアップ研修制度』を設けております。

希望者は、さいたま市消防局救急課普及係までご連絡ください。

## 最後に（お願い）

応急手当の指導に当たる際、最大の目的は『**実際の現場で応急手当を実行できる人材を育成すること**』である

学校や事業所等において定められた**ノルマを達成するための講習にならないよう**、常に最大の目的を念頭に置いて指導に当たっていただきたい

そして、自信を持って指導に当たれるよう、常に最新の知識・技術の習得に努めるとともに、自己分析を怠らず、自らの指導者としての長所・短所を把握し、**常に指導力の向上**に努めていただきたい

大変お疲れ様でした！  
『応急手当の指導要領』  
は以上で終了になります。  
これからも、さいたま市  
の応急手当普及啓発に  
ご協力をお願いします。

さいたま市消防局

